十年度に上昇に転じて以来急速な伸びを示し、ついに待望の六〇パーセントラインに達し、新規学卒者の地元志向にこたえる県内の雇用拡大のための関係機関の努力が着実な成果を得ているといえる。

就職者の県内留保状況を学科別にみると、農業、水産（七十七パーセント）及び商業（七十一・二パーセント）の学科が七〇パーセント台の高率を記録し、家庭（六〇・八パーセント）普通（五十七・四パーセント）、工業（五十三・六パーセント）と続いている。学科単位にみれば、全学科が五〇パーセント以上になっているが、更にこれを男女別にすると工業科女子だけは依然として四十八・四パーセントに止まり五〇パーセントラインを割っている。

昭和五十四年九月一日の進路希望調査時点での県内希望は、全体として六十四・一パーセントであったのに対比し、卒業後の結果が六十一・九パーセントの留保率を記録したことは、求職者の就職地に関する限りその大部分の希望がかなえられたことを意味し、五十四年度の進路指導は、本県産業構造、脆弱な産業基盤等所与の条件を負いながらも大きな成果を得たものと評価されよう。

表4　大学別進学者数（実数）　【全日制】

国立	大学名	北海道	岩手	東北	新潟	筑波	東京	東京芸術	東京工業	お茶の水	一橋	千葉	金沢	京都	北海道教育	弘前	秋田	山形	福島（教）	福島（経済）	宮城教育	茨城	宇都宮	群馬	埼玉	電気通信	東京医科歯科	東京外国語	東京農工	東京学芸	東京水産	横浜国立
	現年度	6	34	71	62	20	11	1	3	2	2	17	3	4	1	10	7	84	217	109	12	75	28	1	10	11	—	2	5	5	3	6
	過年度	6	17	48	33	10	18	2	2	2	3	15	5	2	5	5	6	40	88	71	8	24	11	4	7	5	2	1	8	10	1	8
	計	12	51	119	95	30	29	3	5	4	5	32	8	6	6	15	13	124	305	180	20	99	39	5	17	16	2	3	13	15	4	14

公立	信州	山梨	その他	計	福島県立医科	高崎経済	東京都立	横浜市立	都留文科	その他	計	準大学	気象	水産	防衛	その他	計	私立	岩手医科	仙台	東北学院	東北工業	東北福祉	東北薬科	宮城学院	都山女子	東北歯科	足利工業	城西	独協
	1	—	14	837	20	4	7	1	4	3	39		—	—	4	6	10		1	15	194	64	117	28	25	31	4	29	6	15
	3	3	12	485	36	10	8	4	5	10	73		—	1	1	—	2		6	5	58	6	10	9	8	1	4	—	9	10
	4	3	26	1,322	56	14	15	5	9	13	112		—	1	5	6	12		7	20	252	70	127	37	33	32	8	29	15	25

文教	千葉工業	千葉商科	青山学院	亜細亜	桜美林	大妻女子	学習院	共立女子	慶応	工学院	国学院	国士館	駒沢	実践女子	芝浦工業	上智	昭和女子	成蹊	専修	創価	大東文化	玉川	中央	津田塾	帝京	東海	東京家政	東京経済	東京女子	東京電機	東京農業	東京薬科	東京理科
25	20	50	32	22	11	14	10	15	22	31	20	50	63	15	19	21	6	12	50	8	57	16	64	5	15	110	13	18	8	16	20	6	35
4	10	13	49	11	5	—	13	1	25	9	38	7	86	3	13	17	3	13	47	5	41	—	77	—	11	34	—	23	4	15	17	2	50
29	30	63	81	33	16	14	23	16	47	40	58	57	149	18	32	38	9	25	97	13	98	16	141	5	26	144	13	41	12	31	37	8	85

東洋	日本	日本女子	日本体育	法政	武蔵	武蔵工業	明治	明治学院	明星	立教	立正	早稲田	神奈川	関東学院	鶴見	新潟薬科	同志社	立命館	その他	計
73	242	11	17	76	13	9	55	10	7	17	35	26	45	28	11	5	8	6	489	2,611
86	155	7	—	63	6	10	87	17	9	27	21	58	23	13	—	1	5	8	144	1,512
159	397	18	17	139	19	19	142	27	16	44	56	84	68	41	11	6	13	14	634	4,123